

不安がなく歩行ができる！



S 様（85 歳） 女性
要介護 5 夫と長男の 3 人暮らし

1. COPD
2. 高血圧
3. 大腿骨転子部骨折

呼吸困難で入院していた。また転倒による骨折を繰り返している。体が痛く歩行不安定なので、ベッド上でオムツ交換を行っている。デイサービスも休みがちで、褥瘡リスク高くADL低下傾向である。

0 コードの目的 内服と適切な運動により体調を整え、自宅内(特にトイレ)の移動がスムーズにできる。

内容 ①体調確認、内服確認 ②排泄介助（トイレ、パット交換）／皮膚状態の観察 ③上下肢の運動（PT 考案運動）

効果 PT 考案の運動を一緒に行う事で下肢筋力がつき、歩行器で移動する際の転倒が無くなった。安全に歩行できることでトイレへ行けるようになり、オムツを卒業できた。また、家族を気に掛けるなど生活意欲が出てきた。デイサービスを休むことがなくなり、楽しく通うことができている。

～ 短時間訪問介護の利用例 ～							
=身体0コード							
	月	火	水	木	金	土	日
朝	デイサービス				デイサービス		
昼		身01		身01		身01	
夕							

訪問介護ケアレジデンス 水戸 ☎029-350-4125 / ひたちなか ☎029-212-5547

さみしさ乗り越え、安心へ！



H 様（84 歳） 女性
要介護 1 夫と娘の 3 人暮らし

1. 認知症

家事全般や家での決め事は夫が行っていた(夫も認知症がある)。そんな中、夫が入院。本人一人で生活する事となった。同居の娘も持病あり支援は受けられない状況で本人一人で生活を切り盛りすることになった。

0 コードの目的 夫に頼ってきた中で、本人の出来る事と出来ない事を明確にし、必要な部分をサポートする事により安心して生活できる。

内容 ①生活状況(必要なケア)のアセスメント

②体調と食事状況の確認 ③不安要素の聞き取り/解決

効果 夫の入院直後、一時的に情緒不安定となったが夫の入院後も訪問介護を継続することで、これまでの生活リズムを変えずに暮らせている。夫の不在により、一人の時間が不安で寂しいという気持ちに寄り添うことが出来ている。

～ 短時間訪問介護の利用例 ～							
=身体0コード =生活援助(買物代行)							
	月	火	水	木	金	土	日
朝							
昼	生活	生活	身01	生活	身01	生活	身01
夕							

